

学生参加者募集!



「若胡子屋跡」の活用を考えるワークショップ

御手洗地区は、江戸時代に北前船の寄港地として栄えた港町。現在も当時の面影を残すまちなみは、重要伝統的建造物群保存地区に指定され、まちなみの保全、整備が行われています。その中にある「若胡子屋跡」は、広島藩の免許を受けた御茶屋の一つ。最盛期には 100 人の遊女がいたと伝えられ、広島県の史跡に指定されています。

平成 20 年に「安芸灘とびしま海道」が開通し、御手洗地区は大きな変化の時代を迎えています。そのような中、「若胡子屋跡」は平成 23 年 4 月に耐震補強を終えて一般公開が始まっています。

このワークショップは、御手洗地区の「重伝建を考える会」が主体となって進めようとしている「若胡子屋跡」の活用について、建築・デザインを学ぶ学生の視点から提案を行うことを目的として実施するものです。

歴史的まちなみの整備や建築物の計画に関心ある学生の参加をお待ちしています。



修景された外観



耐震補強された内部空間

町並みの活用方法や「若胡子屋跡」の利用方法・建築デザインを提案しよう!

【実施要領】

■実施時期 (予定)

平成 23 年 11 月 19・20 日：ワークショップ Part I
オリエンテーション、現地調査、ヒアリング等
※予備日：11 月 23 日 (祝)

平成 24 年 2 月 18 日～ 21 日：ワークショップ Part II
計画提案づくりのシャレットワークショップ

※現地での宿泊は研修施設を利用。
※交通費・宿泊費・滞在費等は予算の範囲で支給

■募集人員：20 名程度

※参加者には、追って詳細な実施要領を配布予定

■申込締切：平成 23 年 10 月 28 日 (金)

■申込み先：氏名、所属、学年、連絡先を記入し、下記アドレスまでメールで申込んでください。
(グループでの応募も歓迎)

■お問合せ：広島大学産学・地域連携センター 塚本
☎ 082(424)6134
e-mail: ttsuka@hiroshima-u.ac.jp

主催：「重伝建を考える会」(呉市豊町御手洗)
共催：(社)日本建築学会中国支部(都市計画委員会)
後援：(公益社団)日本都市計画学会 中国四国支部
協力：呉市豊市民センター、広島大学産学・地域連携センター
特定非営利活動法人まちづくりデザインサポート

このワークショップは、平成 23 年度豊町地区社会福祉協議会(豊町振興会)まちづくり事業費助成事業(呉市支援事業)に採択された「広島県史跡『若胡子屋跡』公開活用支援事業」(重伝建を考える会提案)の一環として、「重伝建を考える会」の要請を受けて(社)日本建築学会中国支部(主管：都市計画委員会)が呼びかけて実施するものです。